

コミュニケーション選択の理論とシステムデザイン(肥田野登) 月曜日 5-6 時限開講
西 9-626

前期 / 単位数 講義:2 演習:0 実験:0

講義概要

コミュニケーションを対象に人間の心理的な選択理論である、離散的選択理論(計量経済学)を学び、その限界から、コミュニケーションの変容が起こる条件を時空間認識に立脚した、芸術創造を行うことによって考える。

講義の目的

近年経済学の主要な手法となった確率効用理論にもとづく離散的選択理論を自分のものとする。さらに合理的選択の限界を超えるために、芸術創造を行うことによって創造的な選択のあり方を考える。

講義計画

1. 4月12日 イン트로ダクション 選択集合、ロジットモデル
2. 4月19日 ロジットモデルの定式化、推定
3. 4月26日 ロジットモデルの実際
4. 5月10日 プロビットモデル
5. 5月17日 同上
6. 5月24日 ネスティッドロジット
7. 5月31日 ミックストモデル
8. 6月7日 推定の方法論
9. 6月14日 テストとレビュー
10. 6月21日 作品エスキス発表
11. 6月22日 Art at Tokyo tech 1830-20時 観賞 レポート
12. 7月7日 作品作成
13. 7月12日 作品発表
14. 7月22日 Art at Tokyo tech 1830-20時 観賞 レポート
15. 7月27日 Art at Tokyo tech 1830-20時 観賞 レポート

教科書・参考書等

Discrete Choice methods with simulation 著名な本でダウンロード可能

<http://elsa.berkeley.edu/books/choice2.html>

参考に入門社会工学 第3章 ホワイトカラーの行動と選択

関連科目・履修の条件等

計量経済学入門、確率と統計、統計学の履修が望ましい。

成績評価

レポート (15)、テスト (70)、及び発表と作品 (15)